

# はにわ通信

No.195 平成23(2011)年6月号

クイズの答えはどれでしょう？  
この飾りは何を表しているのでしょうか？

- ① 船を大雨や台風から守るための**雨傘**
- ② 王の住居にだけ建てるのが許された**塔**
- ③ 王が太陽の光に当たらないようにするための**日傘**

★クイズ★  
有名な船形埴輪についてこれは何でしょう??



答えは③です。これは蓋（きぬがさ）という王にさしかける日傘のようなもので、王の権威を象徴しています。

昔は、王などの高貴な人に太陽の光が直接あたると邪気が体を侵し、病気になると考えられていたようです。昔の王さまは、肌が白かったかもしれませんね。

宝塚1号墳から出土した日本最大級の船形埴輪には、蓋以外にもいろいろな飾りがついています。それぞれ何を表しているのでしょうか？日本最大級ってどのくらい大きいのでしょうか？はにわ館に来て確かめてみてくださいね。蓋の形をした蓋形埴輪も展示してありますので、探してみましょ。

島根県の博物館に出かけていた船形埴輪が5月の終わりに戻ってきました。6月からは、本物をご覧いただけます。

(担当)

## 【雨のいろどりを・・・】

ひゃつかとよ 楊万里  
百家渡を過ぎる

いっせい いちう みち かんしつ  
一晴一雨 路乾湿  
はんたん はんのう やまじょうちよう  
半淡半濃 山疊重  
えんそう たい ぎゅうせ み  
遠草 平らかなる中に 牛背を見  
しんおう まば ところ じんしょう あ  
新秧 疎らなる処 人蹤有り



(晴れたとおもえば雨になり、みちは乾いたりぬかるんだり。山々はなかばぼんやり半ばこくうち重なってみえる。草原のどこまでもつづくなかに牛の背中がみえ、田ではうえたばかりの苗がまばらなところに人の足あとがある。)

雨がつづくかとおもえば晴れてみたり、道のあちこちはぬかるんだり乾いたり、雲のきれまに見えかくれる遠くの間々、梅雨の季節になりました。

文化財センターのレンガ造りとしておなじみのギャラリーは、レンガの長い面と短い面をたがいちがいにつみあげるイギリス積みという工法でつくってあり、雨に洗われるとレンガ模様がいっそうひきたちます。鈴の森公園の色とりどりのアジサイともあわせ、この季節ならではの「雨のいろどり」を楽しんでみられてはいかがでしょうか。

楊万里 南宋(960～1279)時代の詩人

(所長)

## 文化財センター はにわ館 & ギャラリー 6月の催し物予定

月曜日、祝日の翌日は休館です。開館時間は9時～17時です(入館は16時30分まで)。

【はにわ館】 入館料 100円 (18歳以下無料。)

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」  
第2展示室 ■前期企画展「大昔のくらし～地域の歴史をさぐる～」 4/16(土)～6/12(日)

【ギャラリー】 入場無料

第1ギャラリー ■花の教室花夢 自然の恵みで紡ぐ押し花作品展  
6/2(木)～5(日) \*毎日10:00から、5日は16:00まで

第2ギャラリー ■墨絵の会作品展 6/7(火)～12(日) \*7日は正午から、12日は16:00まで

第1ギャラリー ■全日本写真連盟88支部 第27回写真展  
6/15(水)～19(日) \*19日は16:00まで



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>